

～東日本大震災の発生から12年～

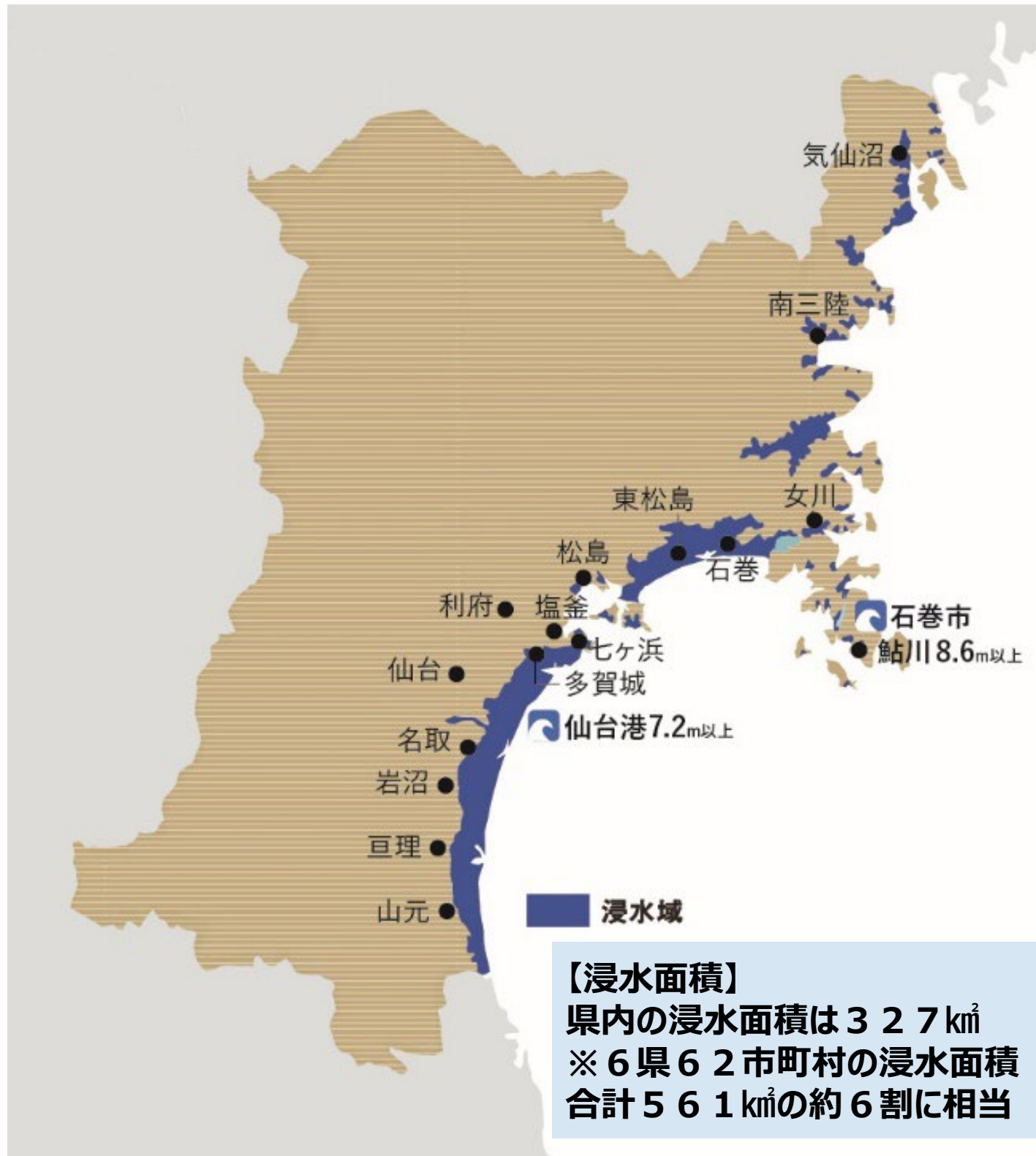
宮城県の復興状況

令和5年6月19日
第42回復興推進委員会



仙台・宮城観光PRキャラクター
むすび丸

1 東日本大震災における被害状況



● 県内の被害状況 (令和5年2月28日現在)

死者数 (震災関連死含む)	10,570人 ほか行方不明者1,215人
住家被害	全壊 83,005棟 半壊 155,130棟

● 地震の概況等

- 1 発生日時
平成23年3月11日(金) 14時46分
- 2 発生場所
三陸沖(牡鹿半島の東約130km)
- 3 震源の深さ
24km
- 4 規模
震度7(栗原市)
- 5 津波の高さ
仙台港:7.2m 石巻市鮎川:8.6m以上

2 みやぎ12年間の復興の歩み

復旧期	2011年 3月11日 東日本大震災発生 10月18日 「宮城県震災復興計画」策定 12月26日 建設型応急住宅（プレハブ）全戸完成（406団地22,095戸） 2012年 8月20日 JR気仙沼線がバス高速輸送システム（BRT）による運行開始 ① 2013年 9月 1日 水産業復興特区を活用した新たな漁業がスタート（石巻市）
再生期	2015年 3月 1日 常磐自動車道が全線開通 5月30日 JR仙石線全線運行再開，仙石東北ライン開業 2016年 4月 1日 東北医科薬科大学医学部新設（仙台市） 7月 1日 仙台空港民営化（国が管理する空港の民営化第1号） ② 2017年 3月22日 東北初の商用水素ステーション運用開始（仙台市）
発展期	2019年 3月10日 「気仙沼市 東日本大震災遺構・伝承館」オープン 3月31日 県内全ての災害公営住宅が完成 2020年 6月12日 「宮城県水門・陸閘自動閉鎖システム」運用開始 ③ 9月26日 「山元町震災遺構中浜小学校」一般公開開始
新・宮城の将来 ビジョン	2021年 6月 6日 「みやぎ東日本大震災津波伝承館」開館（石巻市） 10月 3日 「第40回全国豊かな海づくり大会～食材王国みやぎ大会～」開催 12月18日 三陸沿岸道路（仙台～八戸間）359km全線開通 ④ 2022年10月 1日 「南三陸311メモリアル」開館（南三陸町） 11月 1日 「宮城県制150周年記念式典」開催



既設の水門に遠隔設備を付加した水門・陸閘自動閉鎖システム（谷川防潮水門）



気仙沼線BRT気仙沼駅



民営化された仙台空港

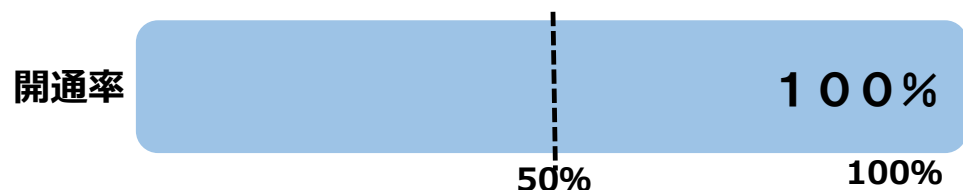


気仙沼湾横断橋（三陸沿岸道路の気仙沼港IC-浦島大島IC間）

3 復興に向けた主な取組状況

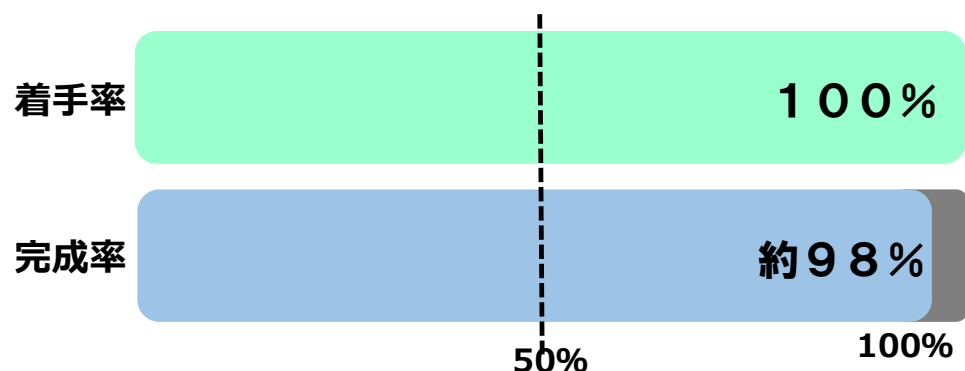
■ 三陸沿岸道路（県内区画）

開通済延長 126.8km（令和3年3月6日完了）
 計画延長 126.8km



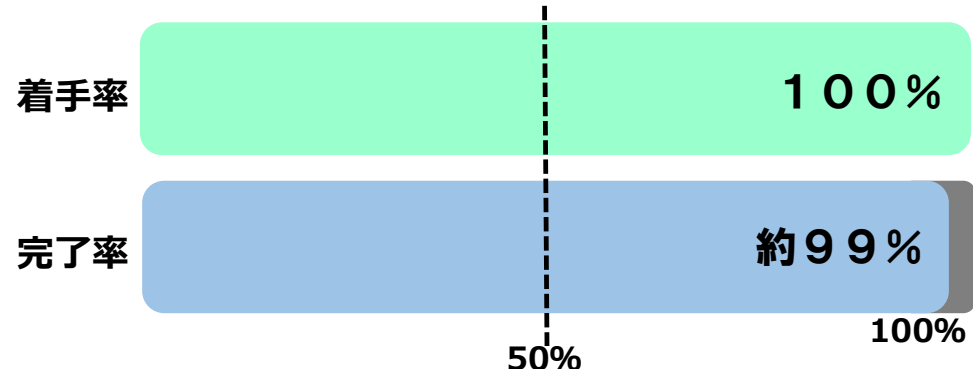
■ 防潮堤（復旧・復興工事）

着手延長 232.8km（令和2年12月末現在）
 完成延長 227.5km（令和5年1月末現在）
 計画延長 232.8km（令和5年1月末現在）



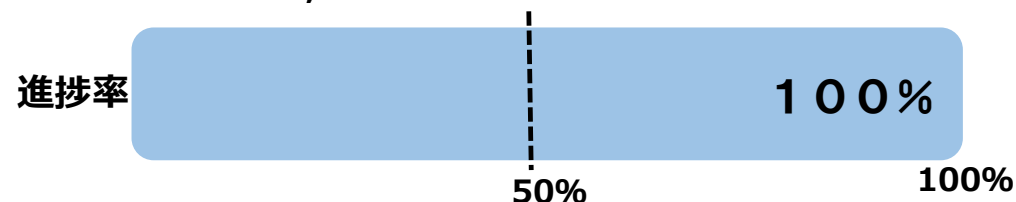
■ 漁港（復旧工事）

着手箇所数 1,255か所（令和5年1月末現在）
 完成箇所数 1,246か所（令和5年1月末現在）
 被災箇所数 1,255か所



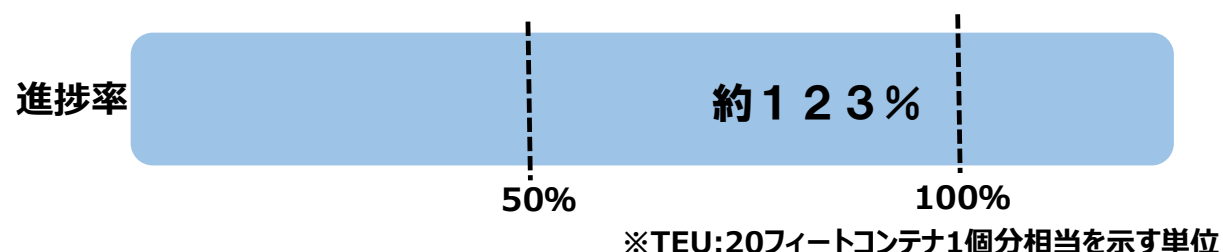
■ 災害公営住宅

完成個数 15,823戸（平成31年3月末完了）
 計画戸数 15,823戸



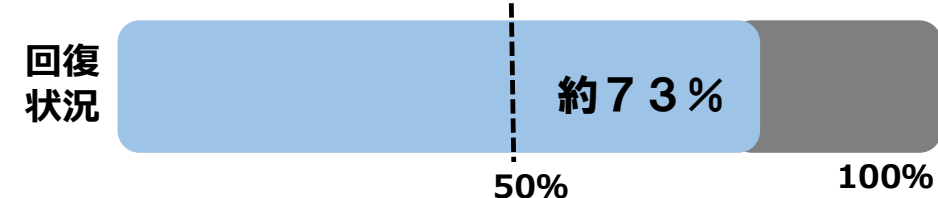
■ コンテナ貨物取扱量（仙台塩釜港（仙台港区））

R3年1月～R3年12月コンテナ貨物取扱量 約265,244TEU（速報値）
 H22年1月～H22年12月コンテナ貨物取扱量 216,345TEU

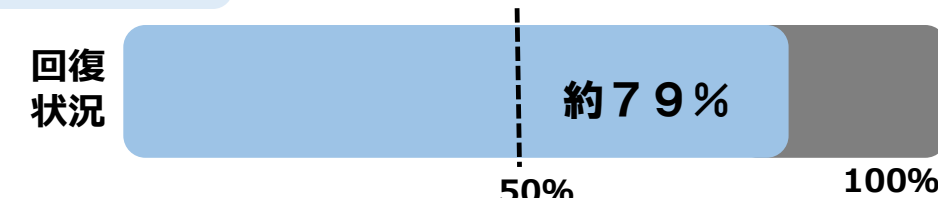


■ 観光客入込数

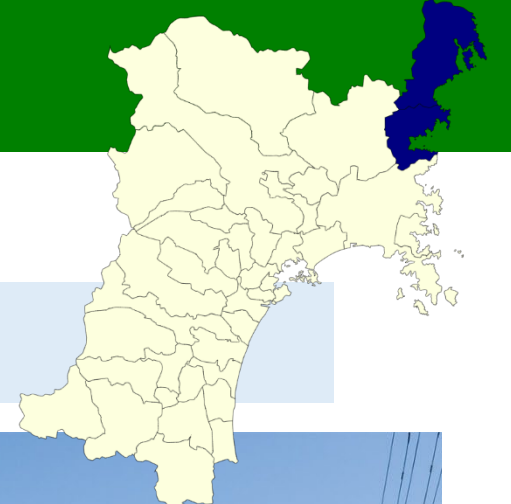
全県 令和3年 4,495万人
 平成22年 6,129万人



石巻・気仙沼圏域 令和3年 640万人
 平成22年 806万人



4-1 エリアごとの復興状況 <気仙沼・本吉エリア>



気仙沼市南町海岸地区

フェリーターミナルがあった気仙沼内湾地域は津波により大きな被害を受けました。現在は防潮堤が完成し、商業観光施設もオープンしています。

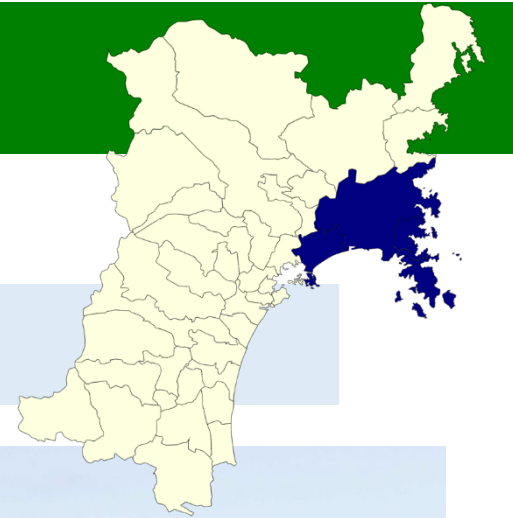


被災直後



被災から12年後

4-2 エリアごとの復興状況 <石巻エリア>



女川町女川地区

壊滅的な被害を受けた女川駅周辺は、多くの人を訪れ賑わう空間となりました。
この女川駅前商店街エリアは、令和3年4月に「道の駅おながわ」として登録されました。



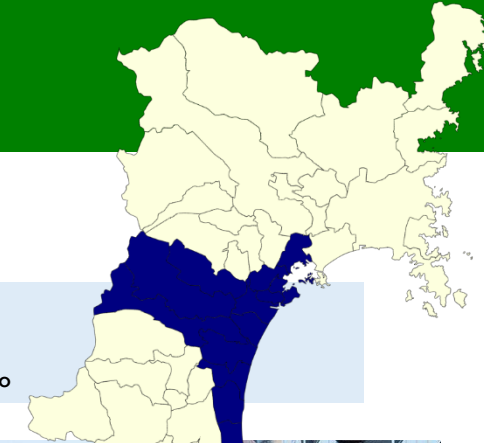
被災直後

女川町 / 東日本大震災アーカイブ宮城



被災から12年後

4-3 エリアごとの復興状況 <仙台沿岸エリア>



塩竈市海岸通地区

塩竈市の中心であるJR本塩釜駅周辺も津波で浸水しました。
国道45号のかさ上げ，市街地の密集環境を改善する市街地再開発が行われました。



被災直後



被災から12年後

5 宮城の震災伝承施設

みやぎ東日本大震災津波伝承館（石巻市）



気仙沼市 東日本大震災遺構・伝承館



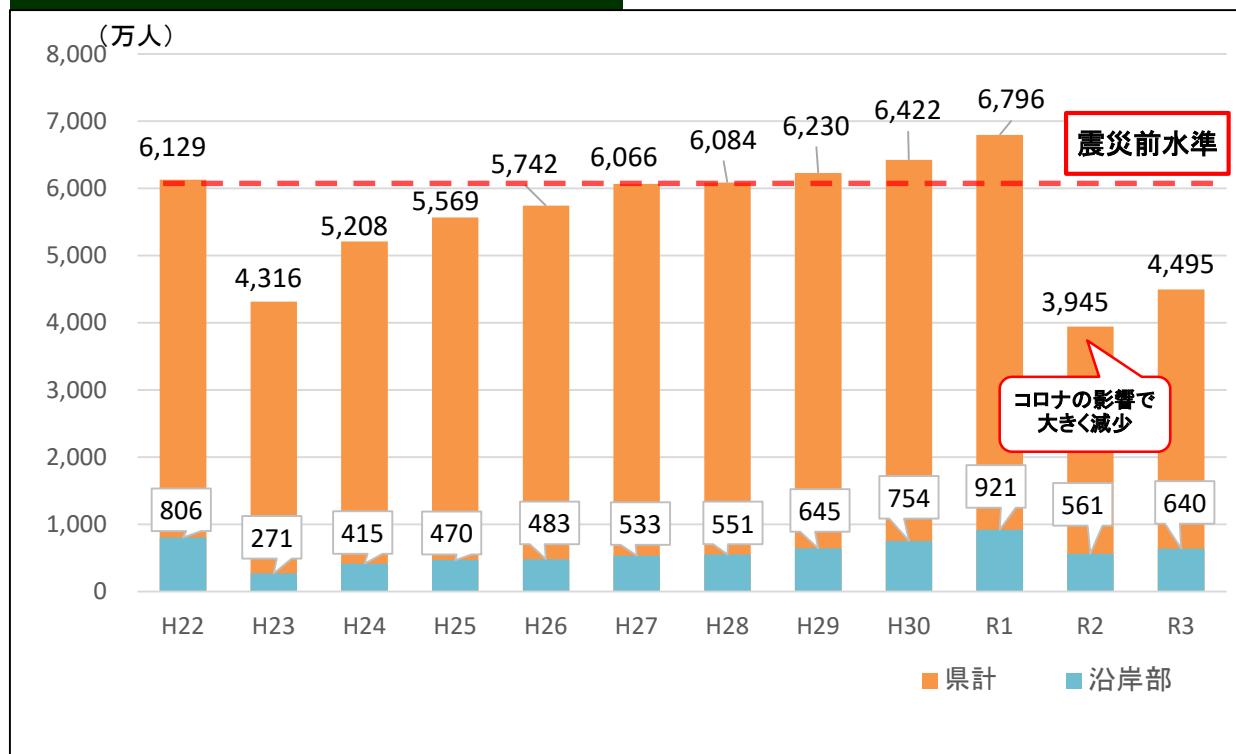
南三陸311メモリアル（南三陸町）



中高生による語り部
（気仙沼市東日本大震災遺構・伝承館）

6 沿岸被災地への誘客に向けた取組

観光客入込数の推移



震災の経験を生かした復興ツーリズムや教育旅行の展開

復興ツーリズムの推進

沿岸部で語り部体験や被災地、復興商店街を回って復興の現状について学ぶとともに、沿岸部と内陸部をつなぎ、内陸部で食や自然景観、温泉などの既存の魅力も楽しんでいただく復興ツーリズムの振興を行っています。

- みやぎ観光復興支援センターの運営
- 復興ツーリズムのPR

教育旅行の誘致

伝承団体や伝承施設と連携した教育旅行誘致を促進するための受入環境の整備を進めています。

- 誘客コーディネーターの設置

外国人観光客の誘致

震災や原発事故による風評を払拭し、外国人観光客の回復を図るため、東北観光推進機構や東北各県などとの広域連携により外国人観光客の誘致に取り組んでいます。

- 東北トップセールス（バンコク）
- 観光博覧会への出展（台湾，韓国，タイ）
- 旅行会社・メディアの招請事業
- 台湾からの教育旅行誘致
- 感染症により大きな影響を受けたインバウンドの早期回復に向けたプロモーション

第5期みやぎ観光戦略プラン数値目標（R4.10～R7.3）

数値目標	実績値【基準】 （令和元年）	目標値（令和6年）	
		回復目標	成長目標
宿泊観光客数	989万人泊	990万人泊	1,040万人泊
外国人観光客宿泊者数	53.4万人泊	50万人泊	70万人泊
観光消費額	3,989億円	3,990億円	4,200億円
観光客入込数	6,796万人	観光成果指標（※）へ移行	

※実施計画で設定・評価を行う。